

治療のお休み中にできる妊娠へ向けた準備

タイミング・人工授精の治療を中断や、胚移植の時期を遅らせることに対し、不安に思われる方もいらっしゃると思います。将来の妊娠に向けて有益な準備として、治療のお休み中にお受けいただけることをいくつかご提案します。

1

Web ART勉強会の聴講(要予約)

定員なし

- 開催日** 8月8日(土)～毎週土曜日配信(10:00～翌日曜日の夜12:00まで)
- ・あらかじめARTパンフレットをお渡しします。
 - ・WebART勉強会にご参加いただいた方のみを対象に、毎週火・土曜14:00～16:00にご主人の感染症の採血ができます。
- ※検査施行日から1年以上経過した検査結果は無効となりますのでご注意ください。

2

胚移植を遅らせる間に採卵を行い、貯卵(貯胚)をしておく

- 対象** 高年齢の方、卵巣機能低下が認められる方、AMHが低い方、不妊期間が長い方
- ※採卵費用の減免制度をご利用いただける場合があります。(後述)

3

着床障害に関係する検査を受けておく

- 対象** 過去の胚移植で良好胚を移植するも妊娠に至らなかった方
- 検査**
- ・子宮鏡検査
 - ・免疫系の着床不全検査(採血)
 - ・慢性子宮内膜炎の検査(形質細胞診など)
 - ・ERA検査(着床窓の時期を調べる検査)

4

食事指導(当院栄養士等が定期的なアドバイスを行います)

- 対象** 過体重、やせの方

5

体質改善外来、漢方外来(要予約)

- 対象** 過体重、やせの方
- 診療日** 体質改善外来…月1回(不定期) / 漢方外来…毎週土曜日

コロナ対策のため、貯卵(貯胚)を希望される方へ ご負担軽減策のご提案

初回の採卵・胚凍結後、移植せずに再度採卵を受ける場合は、2回目の採卵・検卵代が減免対象となります。

1回目 採卵・検卵代	176,000円
2回目 採卵・検卵代	143,000円 ←減免対象

既に採卵回数が3回目以降の方は、通常の減免をご利用いただいた方が有利です。
この減免制度は当面の間、継続とします。
(2020年7月18日現在)